

●●●2019 年 HSD 高校生外交官プログラムに本校 2 年生の S 君が参加しました。そのレポートを掲載します。●●●

この夏、僕は HSD 高校生外交官プログラムという国際交流プログラムに参加しました。このプログラムは AIG 損保とフリーマン財団の支援により日本全国から集まった 40 名の高校生を全額無償でアメリカへ 3 週間派遣してくれるというものです。その中で僕は今では兄弟同然になったルームメイト、マックスウェルに出会い、違いを認め尊敬しあえる、ずっと大切にしていきたい個性豊かなたくさんの仲間を得ました。



参加が決まってからプログラム終了までの約 4 ヶ月半は毎日が挑戦の連続でした。日本の職場環境についてのプレゼンテーション作成、慣れない英語で難しいテーマのディスカッション、自分のありのままの姿をみんなにさらけ出すことなど、どれも決して簡単ではありませんでした。しかしこれらの挑戦は確実に、これからの何が起ころか予測できない時代を生き抜いていくための糧になりました。

渡米して何度も考えることになったのはダイバーシティ(多様性)についてです。生まれてからずっと日本で暮らしていた僕にはあまり考える機会の無かったことです。アメリカでは人種やバックグラウンド、考え方が違うことが当たり前で、大半の人はそれを認め、尊敬しているように感じました。一方で、まだ日本は、多数派と違うということに厳しく、違いを受け入れることにまだまだ抵抗のある国だなど、痛感しました。急には難しいと思いますが自分の身近な所から違いを認められる世の中にしていきたいと強く思いました。

志の高い仲間との交流や、日米の外交官、IMF、世界銀行、国連など、世界の最前線で実際に働く方たちのお話を聞き質問する機会を頂いたことにより、今までは周りの目を気にして言えなかった外交の現場や国際社会で活躍したいという夢についても堂々と話せるようになりました。また、たくさんの出会い、経験を通じて自分の周りにいる人、周りで起こった出来



事に今まで以上に大きな感謝の気持ちを持つようになりました。

この夏、新たな家族に出会い、多くのことに挑戦し、全てをやり遂げ、3 週間で全力で走り抜けた事に誇りを感じ、達成感でいっぱいです。このプログラムに関わって自分にも「色」があることに気づかせてくれたルームメイト、日本とアメリカの 79 人の仲間、スタッフ、家族、その他にも僕に関わってくれた全ての人に感謝します。本当にありがとうございました。

このプログラムに興味を持ってくださった方は、プログラムのホームページと、僕達の代のインスタグラムのアカウントを是非見てください。活動の様子が分かる写真がたくさんアップされています。最後まで読んでいただきありがとうございました。